

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
生物基礎	国際交流科	2	3	高等学校生物基礎（数研出版）	リードLightノート 生物基礎

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら目的意識を持って観察、実験を積極的に行い、生物や生物現象への興味・関心を深める。 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する。
---------	---

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	第1章 生物の特徴	1 生物の多様性と共通性 実験1 ミクロメーター	<ul style="list-style-type: none"> 生物は多様でありながら共通性を持っていることを理解する。 観察の基本となる顕微鏡の使い方を習得する。 生物は原核生物と真核生物に分類できることを理解する。
	5		2 エネルギーと代謝 実験2 酵素のはたらきと性質 3 光合成と呼吸	
	6	第2章 遺伝子とそのはたらき	1 遺伝情報とDNA 実験3 細胞周期の観察	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子の本体がDNAであることを知る。 DNAの塩基配列が遺伝情報を指し示していることを理解する。 体細胞分裂におけるDNAの複製の過程を理解する。 DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。 生物体内では、酵素によって代謝が進行していることを理解する。
	7		2 遺伝情報の発現 3 遺伝情報の分配	
	7		問題演習	
二	9	第3章 生物の体内環境の維持	1 体内環境としての体液 2 腎臓と肝臓による調節 3 神経とホルモンによる調節	<ul style="list-style-type: none"> 内部環境がどのように保たれているか理解する。 体外から侵入してきた異物に対してどのように対応しているか理解する。 体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解する。
	10		4 免疫	
	11	第4章 植物の多様性と分布	1 植生とその成り立ち 2 植生の遷移 3 気候とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> 陸上にはさまざまな植生が見られ、植生は長期的に変化していくことを理解する。 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解する。
	12		問題演習	
	12		問題演習	
三	1	第5章 生態系とその保全	1 生態系とその成り立ち 2 物質循環とエネルギーの流れ 3 生態系のバランスと保全	<ul style="list-style-type: none"> 生態系のバランスについて理解し生態系の保全の重要性を理解する。
	2			
	3	問題演習		

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識に身に付けている。
	◎評価の方法 「評価の4観点」に基づいた評価、授業中の発言や発表、ノートや課題の提出、小テスト、レポート、定期考査の成績、出席状況を総合して評価する。			